宗祇関白

百廿八

ツ乎

543
ソ
3

543
ソ
3

宗祇一巻之関書并葉集之内記付迄
歌道之家上部秘事也めるのこと一の秘之

一百韻の付様楽しゝ逆しゝ紙元合張仕なと
引合之内のたもつたくゝ記ゝ出あそいと
抜之

一子白の付様ゝ之事付合取付之
付合を抜もしてめたくゝすもことはとい
面のふの比合也楽しゝ之人日あれ
之一句を歌之を取出あれ者之

一面の付様の事用之紀如事紀孫付合抜之
之出めの事わろ之内のふ之内のもの之とはとの
ふうたくゝ出之たくゝ

七夕のおとめ出ひすとのもとひめとひすとの私之

他の不面ゝ出侍面ふをぬとの
表述懐 神祇 雑歌 うい 無常 恋 紀
哥きき 名所 田家の所 山居 旅 釣 無物
うゝめき 哀傷 おて 無名の恋 なゝな
おこゝ お祝ひ 鬼

一紙物の字数事三白の題并三ゝ之ゝく仕様

春の季詞の事

四

年と昔言 義水 あとをとる 梅の枝（義業梅枝等詠歌 源植物ニアラスとゝ心ハ うゝりやうえんかつら）

うゝ鶯て 孔の子 大月 子日 松 門松 ゆゝしい 仁 月 香

初春 冬を紀の人 歩 玉 とゝ松みまてゝ

月 雪 ゆ 春 月

二

夜更 雲 初花 二月春 梅 ゆゝ次 霞 春 ゆゝしこ

みゝ花 春日祭 伊勢の別 初梅 霧 花 や

ゆ 義 卯 稲荷祭 初卯 香 ゆ 香 ふ

梅 ゆ ゆ 出 長 雲 梅 山 梅 勝 月

ゆ 田 ゆ 人 春

三

弥生 義 春 梅 梅 花 梅 美 鶯 雲 霞

楓 花 島 巣 梅 ゆ 屋 夏 ゆ ゆ

歌 雲 燈 小 燈 苗 代 月 小 鶯 又 見 小 鶯 ゆ

春 月 雪 を 書 れ

義 梅 ゆ 梅 義 み ゆ 梅 ゆ 春 と 出 い

掉 姫 桂 月 ゆ 月 心 の 月 ゆ 雪 の 月 初春 月

水 姫 ふ し 鳴 出 月 義 和 布 霞 の 月 大 月

ゆ 梅 姫

春 三 月 梅 桜 よ 義 の ゆ 月 常 梅 す 月 ゆ 月 ゆ

夏 月 雪 の 詞

神 の み ゆ 春 楓 神 祭 時 る 蓮 ゆ 月

四

[illegible]人　早苗　卯花　新樹

[illegible]の[illegible]　[illegible]　桐の花

[illegible]　衣[illegible]人　杜若　榊取　[illegible]

五

[illegible]　ちまき　梅の面　梅の月　[illegible]扇

田歌　作毛月　梅の[illegible]　麦秋　水鶏

植田　標　五月面　[illegible]　竹　牧[illegible]

[illegible]　竹[illegible]　[illegible]の[illegible]　[illegible]の[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]月　[illegible]

六

なし　百合　竹　田子　[illegible]夏　[illegible]の長面

[illegible]　[illegible]日　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　蕨　[illegible]　みふ　清水[illegible]

[illegible]月　[illegible]　夕[illegible]　秋[illegible]　[illegible]風

風の[illegible]　風[illegible]人　[illegible]　石竹

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]田　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

雲の峯　[illegible]　水[illegible]　[illegible]　林[illegible]

夏[illegible]

秋の季[illegible]

七

七月　七夕　[illegible]の琴　[illegible]　[illegible]の[illegible]

天川　高て大門池　大日　一葉　素もの弟子　七夕

女郎花　やゝの原の　七月の事く　玉祭　柳枯る

秋　紅ち葉　神無月　落ちる　梅の葉

天川　あの原　七夕の原　さく葉　もゝ枯れ

神無　麻の子　おく　和と田ちる　カルイ　車アハセ

八月　萩　桔梗　鶏　えさは

女郎花　多る　高原　良夜　暮風　暮分

さゝ　すゝ　田の多たく　鉢の花

つゝ　蔦葉　蔦ちり　鉢木　多分　小の木イ　小豆祭日

八幡祭十五日　稲　樹衣　松虫　鹿　人虫

秋雨　田を　もイ　神屋　神の葉　虫　小雨

月　萩　霧　桔　衣うつ　稲葉のなびく

日晩　手枕　さゝ　ゆふや　忘草

さゝ　蔦　芭蕉　ゆふやけ　ゆふ

稲妻　桐　ゆや　そと　ゆく　八月の事

九月　九月　芋の葉　うら　桔　なす　紀歌　菊花

ながめ　月　月　月　菊　蕎　暗　行く

芋の葉　鳩　芋　芋の花　芋の虫　桔　篠　虫

すゝ　鶏　鶏の子　紀　あちら　紀　桔

霧　雁　芝田　鶏　鳥の子　鳥の子　鳥の子

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

恋のことの葉

恨　かなしき　情　何ごとぞ　法師

う紙の紙　別　衣の袖　数

嫌　思ひ　いとせ　いとせ　恋しき

たゝこゝろ　中の袖　うはの重　数

独ね　海ゝ香　なをなつかし

袖の露　なをなつかしし　滝　み　偽

恨　玉ゆゑと　中　きぬ　ぬれ

かこ花

速歌ゝ付ぬ

夕ゝ日蓋　対面に時の雲　玉章（礼イ）にこゝ

歌ゝ　たゝの人　水の鷺　ぬれ　恋

あやめ草　海ゝ　杜の森　蘆　ゆゑ

物のみ　（伝ヒ称ハ〳〵ハ）　住吉の神　（住吉の川ヒ下ハ新ハ〳〵ハ）

水の物の事

雲　霧　あみ　布　ハ〳〵す　祝の水

滝川　月の影　袖引　岩橋　ぬれ

弱　恋　和歌

植物ニ可掩物の事

杉のあやめ　末の雲　篠　桃　稲　石

(ゆうしゅう)秋　(ぶんぎょう)文業　(ぶんぎょう)文業　(ぶんぎょう)文業　(ぶんぎょう)文業

おやにそ　淑女　神の霧　生死の門
なくれ　おみな　おなじ　縁つる身　光　ひかり
別　うれそ　はそ　はそ　はきき　玉形　きき
小塩　小松　大内門　ねを　紀　春の夢

非　衣裳物

第　下紅衣裳也　岩　冠　衣　掉婦衣

この分の物の事

花の波　花の波　くれの雲　松風の面　末
裳の浦　裳の浦　月の雪　月の霜
なのくれ衣　落葉　ふる　さくら　掉戸

この歌あるにさらなり　亦云　浪の花　表をこそ紅植物　花の雪　植物の紅
紅の花　陸物あるす　淑面　陸物よ行ます

産　一有物

己里　萩　紀　けけ　山彦　ともし　猫
炭竈　長采　海人　星の海士　亦一　千浮　弱　こと
焼　うるひす　百千　夕　紫　燈
面　麻　すり　麻の糸なり　紫　紀　燈
ともし　紀　弱　千島　窓　小鳥　萩　麓
蘿　夕　紀　岩屋　儀　巖　婦鳳
桃の房　日暮　秋の鐘　入あひ　山中

[illegible]

[illegible]

[illegible]

神 [illegible] 花 [illegible] 藤 [illegible] 橋 [illegible] 柳 [illegible]

[illegible] 藤 [illegible] 岩 [illegible] 塩 [illegible] 久 [illegible]

物 [illegible] 車 [illegible] 関 [illegible] 滝 [illegible]

[illegible] 四 [illegible]

雪 [illegible] 有 [illegible] 砂 [illegible] 二 [illegible] 鳥 [illegible]

[illegible] 百

[illegible] 五物

橋 [illegible] 世 [illegible] 橋 [illegible]

[illegible] 八物

比 [illegible] 辺 [illegible]

二句去 [illegible] 物 [illegible]

在所に 栖 [illegible] 村 [illegible] 田家に [illegible]

[illegible] 家 関の戸 [illegible] 岩屋 竹田に [illegible]

植物 二句 [illegible]

野山 [illegible] 多 [illegible] に 下萌 [illegible]

[illegible] 木 [illegible] 二句 [illegible] [illegible] に [illegible]

[illegible] 夕 [illegible] に [illegible] の時分 [illegible]

[illegible] 字 [illegible] [illegible] [illegible]

[illegible] 鳥 [illegible] 木の字に [illegible] [illegible] 字 [illegible]

[illegible] 竹 [illegible] [illegible] に [illegible] 字 [illegible]

[illegible] 字 [illegible] [illegible] 字 [illegible] [illegible]

雲に　くもる　霧ふ　曇　分にむよ　さむしき
月の字に　顧　花に　ふる　古に　ふる　月ふ
日ふ　日　口に　月ふの　月　梢よ　末　紅葉　ちる
夜霧の　秋　雪に　初　遠　雁に　初　遠
遠　秋の　ゆふ　ゆふ　秋　ふく　風　別よ　梅　ふ
俳物よ　行　遠　雪　雪の　ふる　人　ふる　ふく
紅葉　原　熊ふ　初　物　行に　ゆ　を　ふ

二句　去　之物

月よ　日　星　俳　ゆふ　物　俳物　俳物よ　梅し
きの　木よ　芝　出に　鳥　春ふ　獣

歌　ふ　め　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ

五句　去　其物

風字　日ふ　日　月と　月　夜と　秋　木ふ　末
草ふ　芝　獣ふ　獣　鳥ふ　春　出と　恋　恋と　恋
恨　と　ふ　み　梢　せ　ゆ　し　春　所ふ　春ふ　冬と　冬
述懐　述懐　釋教ふ　天　義　神祇ふ　神祇　神祇
夜　紅葉　せ　ふ　紅葉　山　獣と　鳥　獣　無常　墨物
植物　獣　鳥　出　風　神　辞　雲　煙　聖　春ふ
道　水

七句　公　法　ふの

衣書や竹田の入る路黄瀬川杜鵑七日を経て

梅廻の事

蕉と云句に古の人と付て文の紫とふの付

る所ふとたより梅と云句ふ墨とは成てまこと

紫ゆゑ紅と和ス

遠梅廻の事

花と云句ふ風ともに霞とも付く京一座の句

てこの句を門弟海へ云

年歌取捨の事

云句ふ波ぬやうに取い但

水色に咲く桜と物

笠屋　霞の内　中四五　布さらし　年の

弟孫　七夕　孫　駒の渡　宮原の和こ来

硯水　独り　渡川　月の影　独の古り

岩く　時雨　宮　懸物　八嶋　懸波　鞍波　蛙

任右日　恵賀

閑の梅捨

山ふる閑ハ山歌ふ梅　浦ふ有ハ水ふ梅

和分に咲ふ人の事

古歌の月　山路屋　玉曉　梅の家　夏の

[illegible]

[illegible]

[illegible]

春部

一梅は花霞白梅朧月琴　心さし
ゆるさぬ梅の雪　和　雪ふるこゝ　梅薫
久方の雲の雪　雅俊　泊船　神春　大坂
とゝ風　神の春二申

一柳は緑みそめて道野色　白妙未
さらし　さけるこ　鶯の羽風　岸　清水
河柳　心　はるの門
一梅は花梅　青柳　萩　躑躅　歌　雲
霧　春雨　八重　茅渚　布引の滝　立田山

一嵐山　高砂松の入
春山　床　河ら東　春風　雪　心
一茅渚は　雪雪　野人　春日野　小野
生田　春日　茅渚　春日野　小野
手こみ　我みの子先　春とはむ　神さむこ
一春みまは　一東　野色　松つゝこ　清水
ゆく夜　手こと紀　神さむこ　春の野
一山吹は　鶯とこ三申　鶯鳴春　岸　玉川
井手の里　芳野河　花の霞
一藤は　松つゝゆく　春日野　紫　四条浦　門

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

八十四

一ちゑ者はとゝ　加級の事

一人を立へきこと　ふろしきのことゝ申ク云こと

一玉の石と申ス事　たゝし三つの事にて云

何日ものにて新地

一あはをとゝ　合ゝ申ス所

一たての事　目録の事

一地をとゝ　何のもとれ出ふくを向ふ

一おかねをとゝ　みゝ紙の時つゝふものれ

後より別のすゝめ

一えんをはをゝ　めゝくゝとゝのもとゝ

一ゝたゝもとゝ　ゝもたゝもとゝ仕をゝる

しゝ決

一ゝゝ詩をとゝ　家ゝ抜ゝ新玉なゝと

みゝ事より新ゝ　ふゝ抜ゝ後の日ゝ入ゝこゝらゝ新

ふゝ不記ものゝ　ゝゝゝ事新の

一あゝ新ゝ抜ゝ　ゝれ金れ事　ゝれゝこにあゝ

ゝゝふゝ入ゝ　ゝ抜ゝこれと中新日

一玉の抜ゝとゝ　草ゝれ玉抜ゝの事

一地をふゝるゝとゝ　加重ゝゝゝゝふ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

夏物

一霞と霧こ張たる春物

一橋と橋張たる夏物

一鶴衣　みつ紀衣物

一雪の袖ちゝ紀物こゝ

一玉川　面門よりあふ付水のふるくゝ

一笠　紀とちゝ紀ますれ成なる

一鶴のくゝ　さは鳥二翅をなゝへて橋ゝ渡る

一みさゝ山　祭七夕よりの付

一たゝみ衣　神祇ふ来

一あはゝふかゝ　琴れ事物

一雑俳を清ゝ神ゝ　ゝゝ琴れ事物

一むゝ　ゝ　ゝ　

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一千深の境　伊勢より紀州の境紀國より有

一雑波女とは　山神の事

一泊瀬女とは　山神の事

一萩の戸　うへ[illegible]の戸

一卯花雪　卯月花　卯花の雪

一紫庭　大内庭の事　萩戸付て出る事

一萩屋とは　大内庭に植る萩の事

一松[illegible]とは　百年に一度は咲なり

一[illegible]ひして[illegible]

面白き作なり

一初嵐は　七月一日に吹く嵐の事也　風イ

一松の初みどり　雪はなれる所　初緑也　緑立

　若みどりとは春野の雪はなれ緑と成る雑也

一水は[illegible]る海は　湖の事

一[illegible]海は　[illegible]海也

一民草は　百姓と云　百姓の事也

一吉野の[illegible]

　は板の[illegible]

一[illegible]の小野　大和よあ雪[illegible]也

一なをれてみちと　伊勢に有名所也
一ちはやひぶる　五月五日菖蒲の事
　万葉の歌也
一竹の里　名所　備中に有　松風の里　祇園
　社里　名所　二ツ里　備中にあり　此間物
　語に歌ともしの里
一竹浦　竹橋　名所　如賀国
　すの浦
一瞳の清水　春はたのしき　名所　大原の里ふに有
一霞の衣　おなじ所のこと　春物
一雉波の松　雉波の天皇　此
　ことはの事　ゆるく成ゆゑ成ゆゑのこと
一志賀の花　面とりの科　九月の事也
一七夕の風祭　花を風ちらす　菅原氏
　風を出すのふるまひ　行ふこと
一雉波草　蘆の事也
一藤取　ふじとり　ものの染のこと
一切手　大草　出雲人の事歌
一須磨の山里　梅　菊を付事　行平源
　氏物語　三条　住人ゆゑ　対梅菊と植

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一常住記　河内より有
一常の滝　高師山より出
一星尾あり　常住河内より有
一小簾の下水　常住渡の水
一泰住寺原　非人住居に成ふ松原の事
一ひやけ石　桃の紀の童子
一あつ住寺の松の事　人丸の社の松
　の事　此の付合なり
一大流三郎　安部氏の事の秘
一管の庭

一岩間柏の滝井　岩より付る紀とうたひ
　の事
一ふたつの岩の白と云仁者ふの付
一玉手寺元の事　酒こと の員と拾ふ
一玉柏三井の滝井に有不可事おもしふ
　ふる事にて付
一四天王柏と云ふ　此事の秘ゝ難波
　て滝の面
一なを三井の岡大和より有そて紀や美を
　梅子ゝ梅

一梅の枝うたゝ　正月七日大内ふく梅を
　　手水に入て舞事　口傳
一卯杖とは　正月七日大内（に）調物そなへ（て）
　　年〻人〻さいはく杖の事也　木の末（にて）作る
　　ふ柳椿の枝をさゝりて四尺五寸ばかり
　　切て五色にいとにて十二所まきてたてる
　　之中ばかふ新書
一橘を子種こうてとと　古今三番めれ云也
一あまたの琴ともの事　人丸東（下）路の記
　　むさしれたれの里に二条院さゝ和
　　時代ゝ自物語あるこゝろ行のこゝろ中れ書
　　東あてはゝうのたゝるあ身行ゝ琴ゝ也
一次廣よ於あと付事　源氏の古たゝふのこと也
一百千鳥とい　常れとゝにや　ゝ　ゝ　ゝ
　　ゝ後門の島の事にや白れ林よゝ彩（し）
一金板の開ゝす　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
一ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
一ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
　　人ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
一ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ